



障がい者が力を発揮できるよう工夫された職場で  
**市場で高評価される  
胡蝶蘭を作る！**

東京都中央卸売市場に入荷連絡が入ると、即完売になるほど評価が高い胡蝶蘭があります。

実は、それを作っているのは、障がい者のみなさんでした。

JR成田線で成田と我孫子の間に位置するのどかな住宅街の新木。ここに、帝人グループの特例子会社として、ポレポレファームを運営し、農福連携に取り組んでいる帝人ソレイユ(株)があります。設立は2019年2月で、現在、従業員は障がいのある方36名を含む48名です。

社長補佐の鈴木 崇之さんは「障がいのある家族を持つ社員たち3名で、帝人(株)に特例子会社を作らないかと掛け合いました。実は、私は、私はうつ病を発症したことがあります。そのとき、畑で作物を作って、心身共に救われました。同僚から『農福連携』といって、農業と福祉は相性が良い』と聞いたこともあり、特例子会社を作りたいと思ったのです」と言います。農福連携とは障がい者が農業分

農福連携で  
親亡き後も生活できるように



営業部長  
沢野 光秀さん

社長補佐  
鈴木 崇之さん

農業事業部長  
黒木 忠さん



あさい たかふみ  
浅井 孝文さん

人が足りていない作業に入っていますが、「これができるようになったら、次はこれを教えてあげたい」と、仲間が成長する姿を見るのが楽しいですね。自然に触れる仕事なので、気持ちが落ちつきます。

国に600社ほどあります。ところが、その多くは赤字だといえます。そんな現状の中で、ポレポレファームは黒字を指す数少ない企業です。その理由を、鈴木さんは「働く社員の誇りのためです」ときっぱり。具体的によどのような取り組みをしているかについて、黒木さんは「スタッフには、生産性を上げることを意識してもらっています。例えば、作業効率を上げるために時間を測って確認する、その日の作業で何本折ってしまったかを記録することで出来高の割合である歩留まりを管理するなどです。意識することで成長し、作業の時間も短く、正確になりました。当然ながら未達の日もあって、落ち込んでいることもあります。でも、達成したときにねぎらってあげると、作業に対して確実に自信が付き、スキルが上がっていきます」と言います。特に胡蝶蘭の仕立ては、花が正面を向くように支柱に沿って曲げたり、手前に向けたりと繊細な作業になります。これは相当な技術を要する作業なのです。



胡蝶蘭はPlanet's Hug Orchidとしてブランド化し、高級感と丁寧な生産過程が伝わるツールをつけています。

野で活躍することを通じて、自信や生き甲斐を持つて社会参画する取り組みで、国が推進しているものです。

共に立ち上げた農業事業部長の黒木忠さんは「私の息子には重度の知的障がいがありますが、そんな人々が働ける場所とはほとんどありません。身体障がい者とは比べて、判断力やコミュニケーション力にハンディがあるため、雇用しにくいのです。そこで、自分たちが他界しても、子どもたちが地域で生活できるようにとの思いから設立に参加しました」と思いを語ります。

スワヒリ語で「ゆつくり、のんびり」を意味する「ポレポレ」を冠したポレポレファームでは、露地野菜とバラ、胡蝶蘭を作り、出荷しています。

### スタッフ全員が黒字化を目標に取り組む

特例子会社の数は年々増え、現在、全

見学や取材の



自閉症のあるスタッフがいます。例えば、彼は自閉症特有の集中



えびはら  
海老原さん

私の作業は、胡蝶蘭の見た目を整える部分なので、皆さんが胡蝶蘭を見てくれるのがやり甲斐です。家族に自分が作った胡蝶蘭をプレゼントしたことがあります。すごく喜ばれました！それがうれしかった。

### 特性に合った適材適所だから自分らしく仕事ができる

例えば胡蝶蘭なら、水やりから葉を磨く、鉢上げ、花の仕立て、傷の確認、出荷など作業は多岐に渡ります。これらの人員配置はどのように行っているのでしょうか。

本物の支柱を一定の形に曲げる作業や、5000本の胡蝶蘭一つひとつに水を掛けていく仕事してもらっています。水やりはおよそ10時間掛かるため、我々

黒木さんは「入社時に障がいの特性などさまざまな情報をいただきます。それによって、その方が力を発揮できる分野はどこなのかを考え、まず、実習という形で手先の器用さやバランス感覚を拝見して、担当を決めています。

力があっても、単純な作業をやり続ける能力を持っていない。そこで、何百





かどたにさだはる  
廉谷 貞治さん

自分が仕立てた胡蝶蘭が、市場で取引されているのがうれしい。引きこもって昼夜逆転した時期もありましたが、今は規則正しい生活をしています。常に体調を万全にして仕事に臨めるようにしています。

「野菜チームでは、中度の知的障がいがあるスタッフも袋詰め作業をしています。何度指導しても数え間違いがなくなりませんでした。本人はすっかり落ち込んで、『自分は

チマークとなる基準線を引く、トレーの基準線と合わせることでまっすぐに並べることができるようになりました」とのこと。



数を間違えないように、仕切りをしたカゴ。それぞれの仕切りに入れば、1カゴ12袋になります。



もうここでは働けない」とまで考えるようになったのです。そこで、カゴを仕切って、そこに1袋ずつ入れてもらうようにしました。3×4に仕切ること、数えなくても12袋にできたことが分かります。つまり、できるように指導するのではなく、できなくても構わないという仕組みにしたのです。これにより、彼は数えるストレスがなくなり、徐々に落ち着きを取り戻し、元気に仕事ができるようになりました」と一例を教えてくださいました。

営業部長の沢野光秀さんは「褒められたり、人が見てくれていたりというのはモチベーションにつながるようです」と言います。それぞれのスタッフが力を発揮できるようにと作られた仕組みや考え方には、見習いたい部分がたくさんありました。



300グラム前後で計量する場合は、「300～350グラム」ではなく、「この2つのテープの間に針がくるように」と指示。

だと途中で嫌になると思うんですが、彼は本当に楽しそうにやり続けてくれる才能があるのです。このように、障がい特性にあった業務を割り当てています。

一方で、精神疾患のスタッフには、神経質で細かいことが気になる方が多くいらつしやいます。そういう方々にはまさに職人技が要求される胡蝶蘭の微妙な仕立て、バランスを整える最終作業に取り組んでもらっています」と教えてくれました。

### マネジメントと構造化で 全員が力を発揮

ポレポレファームには、作業を進めていく上での工夫があります。黒木さんは「働きやすくする仕組みや環境作りを進めています。例えば『この野菜を300グラム前後にして包んでください』というあいまいな指示が理解できないスタッフでも、秤のメモリに印をつけて、『針がこの間に収まるようにしてください』と伝えれば誰にでもできます」と話します。



さいとうはやと  
斉藤 隼さん

野菜を栽培していますが、苗木を畑に植えて、それが少しずつ育って大きくなり、実をつけると、すごく達成感があります。ここで仕事をするようになって、野菜の勉強ができたし、野菜を届けるために免許も取りました。

### 帝人ソレイユ(株)

農福連携として、オーガニック野菜や胡蝶蘭、エディブルローズなどの生産・販売を行う。他に、オフィスサポート事業として帝人グループ内での事務補助も行う。特例子会社初の農林水産省「ノウフク・アワード2021」チャレンジ賞を受賞。

住所:千葉県我孫子市布佐845-1  
ヒルサイドビル丹羽103  
電話:04-7199-9591  
<https://teijin-soleil.co.jp>



TAKE FREE

【メルディア】一般財団法人メルディア広報誌

# MELDIA

VOL.59  
JAN.2024

スペシャルオリンピックス日本  
ドリームサポーター

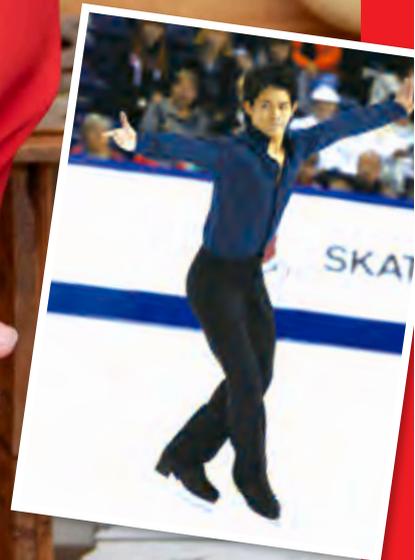
## 小塚 崇彦さん インタビュー



医学シリーズ5 自閉スペクトラム症  
バイオマーカーを用いて  
「困り事に関する  
脳の状態を、  
改善できないか」

障がい者が力を発揮できるよう  
工夫された職場で  
市場で高評価される  
胡蝶蘭を作る!

チアダンスチームDream Team  
障がいがある人もない人も、  
ともに1つのパフォーマンスを  
作り上げる



障がい...それは性格の一部

# 性格には優れたところがあるから尊重したい